

通信学習実施計画書

1 学習方法

- ①テキストにより、自宅学習を行う。
- ②自宅学習の成果を確認するため、レポートの課題に対する解答を郵送又はスクーリング時に提出させる。
- ③レポートの課題は、カリキュラムの内容を網羅するものとし、科目ごとに課題を設定し、選択式による問題と記述式による問題とする。

2 科目別通信学習時間

科 目	総時間	通信時間
1 職務の理解	6時間	通信不可
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	7.5時間
3 介護の基本	6時間	3時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	7時間
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	3時間
6 老化の理解	6時間	3時間
7 認知症の理解	6時間	3時間
8 障害の理解	3時間	1.5時間
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	75時間	12時間
10 振り返り	4時間	通信不可

3 通信学習課題配布・提出日程

- ①通信学習課題は、開講初日に配布する。
- ②提出日程については通信課題に記載された提出日を厳守とする。

4 通信学習課題

レポート1 「介護における尊厳の保持・自立支援」「介護の基本」

出題数 記述 11問 穴埋 7問

レポート2 「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」「介護におけるコミュニケーション技術」

出題数 記述 8問 穴埋 6問

レポート3 「老化の理解」「認知症の理解」

出題数 記述 8問 穴埋 7問

レポート4 「障害の理解」「ころとからだの生活支援技術Ⅰ」

出題数 記述 6問 穴埋 8問

レポート5 「ころとからだの生活支援技術Ⅱ」「ころとからだの生活支援技術Ⅲ」
「ころとからだの生活支援技術Ⅳ」

出題数 記述 16問 穴埋 5問

5 評価の方法

提出されたレポートは、添削を行い、理解度の高い順に A・B・C・D の区分で評価を行う。

A・B・C を合格とし、理解度の低い D の場合はレポートを再提出させ、理解度が深まるまで繰り返し提出させる。なお、合格したレポートは返却しない。

【レポートの評価】

A=90 点以上・B=80 点以上・C=70 点以上 合格 D=70 点未満 不合格

【個別学習への対処方法】

受講生が自宅での学習に生じた質問内容に対して、電話・FAX・郵便・メールで受付、講師が電話・メール又はスクーリング時に回答する。